

有馬朗人理事長(右から2人目)と横山俊夫学長室に新校旗を手渡した同窓会の梅谷拓宣会長(右から2人目) 〓浜松市中区の静岡文化芸術大で



20周年 校旗新調で次代へ

文化芸大同窓会が寄贈

静岡文化芸術大(浜松市中区)の卒業生たちでつくる同窓会が七日、開学二十周年を記念し、新調した校旗を同大に贈呈した。

校旗は毎年、入学式や卒業式、開学記念式などの公式行事で掲げてきた。年々色あせてきていたことから、話し合って、校旗の贈呈を決めた。

新しい校旗は、縦九十センチ、横百三十センチ。旗の真ん中には、ブルーのシンボルマークがあしらわれている。開学当初から使用していた校旗と同じサイズ、デザインで再現した。

贈呈式では、同大一期生で同窓会会長の梅谷拓宣さん(三〇)が「入学した時、シンブルだが力強いシンボルマークの校旗が印象的で、これから学校をつくっていくんだという思いを強く感じた。堂々と使ってもらい、受け継いでいってくれたらうれしいです」と有馬朗人理事長と横山俊夫学長に、手渡した。

横山学長は「持ってみたら、物理的な重みだけでなく、皆さんの思いがこもっているのを感じた。大切に使用していただきませう」と感謝を述べた。(細谷真里)